



新しい労働運動の広がり 活気ある支部大会、運動の前進を反映！



CU各支部の大会が元気です。この間開かれた多くの支部が、これまで最高の参加で活況を呈しています。

何より、報告される内容が、運動の広がりと同進を示しています。

同時に、闘っている相談者が組合に加入し、自らの言葉で思いを語っているのが感動を呼んでいます。(左は、8/4の三多摩協議会の大会の写真、報告する三宅書記長)

■8人の相談者次々発言 三多摩協議会

8月4日、三多摩協議会第5回定期大会が開かれ、53人のこれまでの最高の参加者でした。参加者に強い感銘を与えてのは、保育士、英語教師、警備労働者、障害者などなど8人の相談者のたたかひの発言でした。「組合がなかったらここまで闘えなかった」とつぎつぎ、「CUとともに闘う」決意をのべ、参加者から大きな拍手が寄せられました。三多摩は当面500人をめざします。(3面)

■外資系・大企業の労働相談に答え ちよだ

7月26日、ユニオンちよだ第13回定期大会を開き、24人が参加しました。都心、外資系、大企業の本社が集中するなかで、個人加盟の労組の役割を發揮しています。外資系の相談も目白押し。労働組合の権利・団体交渉で多くの相談を解決しています。ちよだは100人をめざします。(2面)

■100人突破！ 学生の相談にも答え 文京

7月28日、CU文京支部は、第10回大会を30人の参加で開催、104人の組合員で迎えました。CU文京が地域労働運動の活性化に寄与し、民主運動のなかでも役割が大きくなり、交流の中で組織化も進んでいることを確認、学生のバイトの相談に答え、「わかもの食堂」が話題を呼んでいます。最賃1500円を目指すデモ行進は3回を迎えました。(2面)

■春の組織拡大トップで達成 CU港支部

6月29日、CU港支部は、春の拡大で本部からの要請目標と支部50人を達成し、第10回定期大会を開催しました。労働相談が年間49件、組合に加入し裁判や団体交渉で12件のうち、7件が解決、現在2件の裁判と2件の労働審判、3件の団体交渉を報告。最近加入した組合員は大企業労組が闘わない状況の中で1人で加入できる組合の大きさと拡大の必要性を発言。参加から組合員が増え、雰囲気が変わったと感想が寄せられました。60人支部めざします。(前号)

外国人の相談も増えています。アジアに限らず、アメリカ・ヨーロッパの人もいます。また、障害者・高齢者の相談も増えています。役割の大きさを日々感じます。

CU東京は、組合結成10年、節目の年です。各支部も節目の大会が少なくありません。練馬支部は、8/31 10周年レセプションを予定しています。飛躍の年です。

秋の組織拡大月間決起集会

CU東京は、年内に1500人組合達成を位置づけ、秋の組織拡大月間に取り組みます。全支部参加で開催します。積極的な参加を要請します。

■ 8月30日(金) 17:00~19:00

■ ラパスホール

■ 参加要請 支部3人以上

当日は、飲み物・軽食を用意します。別途、参加者集約をします。報告をお願いします。

外資系、大企業の労働相談 千代田区の労働者の駆け込み寺の役割果たす ユニオンちよだ



相談件数・解決事案13件、

ユニオンちよだは、7月27日（土）神保町区民館で第13回定期大会を開催しました（参加組合員24名）。冒頭、鈴木真理委員長から今期も千代田区の労働者の駆け込み寺としての役割を果たせたと挨拶がありました。続いて来賓から、CU東京・高木書記長、千代田区労協・白神常任幹事、日本共産党千代田地区からは労働部長鈴木秀治さんから挨拶を頂きました。経過報告では争議28件（解決事案の13件、争議中の9案件、終結した6案件）の説明が鈴木副委員長からありました。特に千代田区の特徴である外資系会社の問題、大企業との労働問題では、当該の方々からも直接説明がありました。今回はJAL争議団の石賀さんも来賓として出席して頂き熱いエールをいただきました。

第2部は「ユニオンちよだ音楽祭」楽しむ

第2部は、ユニオンちよだ音楽祭とし、組合の川上純一さんのギター弾き語り、白林さんの歌唱、「ソレイユ」のコーラスを楽しみました。その後、事務所で恒例の交流会を開催、交流を深めました、

新役員は次の通りです。委員長・鈴木真理、副委員長・池田聡・茂呂文彦、書記長・鈴木明彦、執行委員・香取義和・小番孝也・宮下景子・中野猛司、会計監査 眞鍋泰治・杉山文一

（ユニオンちよだ 書記長 鈴木さん記）

100人突破の第10回定期大会 「若者食堂」スタート CU文京支部



CU文京の役割が大きくなった

CU文京支部は、7月28日、文京シビックセンターで、第10回大会を30人の参加で開催しました。

議長に伊藤代議員を選出、遠藤委員長は「記念すべき10回大会を104人の組合員で迎えた、CU文京が期待され役割が大きくなったことの現れであり大きな前進、さらに奮闘しよう」と述べました。来賓のあいさつは、区労協の大谷議長、CU東京の平山副委員長、区議会議員の萬立さんからありました。

「わかもの食堂」、最低賃金運動

山田書記長から経過報告、方針、決算予算の説明があり総括の中で「100人に到達したことで、文京の労働運動を支えた活動家が退職を迎える中で、これらの方々にはCU東京の運動に参加してもらった費用の一部が払えるようになり、地域労働運動の活性化に寄与。地域の民主運動のなかでも役割が大きくなり、交流の中で組織化も進んでいる」、「わかもの食堂」、最低賃金1500円を目指す運動、労働相談活動、女性の限定の行事など組合員の交流の重視などを報告。提案を承認しました。新役員は次の通りです。委員長・小川富弘、副委員長・遠藤弘幸・益子茂、執行委員・大川英昭・登尾純一・岩永有礼・山岸恒子、書記長・山田三平、書記次長・湯本弘美、会計監査・椎名容子。

（CU文京 書記長 山田さん記）

「相談解決、交渉中の組合員が積極的に発言し盛り上がったね」

CU三多摩第5回定期大会

これまで最高の53人が参加

8月4日（日）、国分寺労政会館に組合員と来賓53



挨拶する三多摩協議会 佐藤委員長

人が参加して開催されました。三多摩にない個人加盟組合、駆け込み寺」の

役割を一層強め、500人組織実現へ向け意気高くスタートしました。冒頭、佐藤委員長はこの1年の三多摩における相談と組織増勢の実績は、目標にはわずかに及ばなかったが重要な前進を築いた事を報告。本部の小倉委員長、高木書記長からも「三多摩に期待」の激励挨拶をいただきました。

来賓として、三多摩労連の菅原副議長、三多摩法律事務所の村松弁護士、八王子合同法律事務所で顧問の白根弁護士、友好組合の埼玉ユニオンから岩月委員長と中山書記長それぞれから激励挨拶がありました。日本共産党からは山添拓参議院議員、清水秀子都議の挨拶、連携する三多摩各地の市議会議員が紹介されました。

相談者が次々発言 参加者に感銘呼ぶ

討論では寺川清瀬東久留米分会の寺川分会長から、最賃の議会提出で地区労との連携、女性問題での発言を皮切りに、現在と交渉中の保育士からの「一緒に頑張りたい」との報告、外国人で英語教師のGさん、教育委員会勤務のNさん、女性警備員のEさん、夜間警備の太田さんが発言。解決した料亭職場の新原さん、保険会社の間島さん等が発言、組合の解決能力や寄り添う姿勢に感謝の言葉が寄せられました。

経過・方針・予算・役員を全員一致で採択。新役員は、佐藤義見委員長、三宅書記長他27人の執行部（新任は3人）を選出し終了しました。会場を移し交流会を持ち懇親を深めました。

（三多摩協議会 書記長 三宅さん記）

8時間働いてまともな生活に、時給1500円は必要 東京最賃審議会 28円引き上げ1013円を答申

19県が中央審議会答申上回る

8月9日、2019年度の最低賃金の都道府県の答



東京労働局前の座り込み宣伝8/1

申が出そろいました。26円の引き上げは、昨年よりも1円高く、2002年以降で最大と強調されていますが、安倍内閣による

「3%程度の引き上げ」に沿ったにすぎず、多くの労働者が要求している「時給1500円が必要」という要求には程遠いものでした。

地域間格差改善されず 最大223円の差

今年の改定の目安には、全国の1割を超える自治体が、格差の縮小・廃止を求める意見書を厚労省に提出していました。地域間格差を依然として大きく、改善されませんでした。最高は東京の1013円、神奈



文京区内で最賃デモ CU文京

川とともに初めて千円を超え、最低額は790円で15県が並びました。東京と最低県の格差は223円です。18年度の224円からわずか1円の縮小です。

時給は1500円が必要

CU東京は時給は1500円が必要、全国一律最低賃金制度の創設を要求し、また、国に中小企業対策の対策・強化を要求していきます。

秋の行動では、高まっている最低賃金をアピールし運動します。確定した新賃額を案内、すみやかな実施を求めています。

《 東京地評主催 》

★地域ユニオンセミナー

11月9日（土）13時30分
東京地評 5階会議室

「わかもの食堂」スタート 学生のバイトの相談に応え

CU文京支部

初めての「わかもの食堂」

CU文京支部は8月10日、初めての「わかもの食堂」を16人の参加で開きました。学生のバイトの相談にのり、もっと労働組合のこと、労働者の権利のことを知る場を持ってもらおう、バイトや学生の交流をはかろうと、スタートしました。

「なにしろ彼らはよく食べるよ！」CU東京文京支部アイデアマン、労働相談員の伊藤弘さんの一言から始まった企画です。世話好き料理好きの伊藤さんは、学生たちのボランティア活動の手伝いを長年続けてきました。その経験と日々の労働相談、最近あった学生バイトの相談から、「わかもの食堂」の企画がスタートしました。

「腹いっぱい食べよう」、交流しよう！

多くの学生が、労働法をあまり知らない。労働組合は、めんどくさいものと思っているようなので、何とかしないと、労働組合の将来は危うい。そう考え、ほとんどの学生がアルバイトをしていることもあり、「労働組合の事務所に集まって、アルバイト経験を交流、労働組合を知ってもらおう」と、そのきっかけに「腹いっぱい食べよう」を結びつけました。成功するか、継続できるかは、これからの努力です。

(CU文京 書記長 山田さん記)

2019世直し 雷大行進

消費税10%増税 インボイス導入きっぱり中止！

とき 9月8日(日) 10時開会

集合場所 浅草・花川戸公園

主催 雷大行進実行委員会

安心して働きたい東京のつどい

とき 10月11日(金) 18時30分

開場 江東区総合区民センター

講演 竹信三恵子(和光大名誉教授)

江東の仲間たちの太鼓・活動交流

CU東京一泊活動者会議

CU東京は、結成10年を踏まえ、今後の運動を展望し、活動経験を交流し、学び、秋の運動を成功させることにしています。、年内に1500人を達成し、300人組合をめざします。各支部に積極的な参加を要請します。

- 日時 10月14日(月・休)～15日(火)
- 場所 秩父・梁山泊
- 規模 50人(各支部に別途要請します)
- 費用 宿泊費・本部負担
交通費・支部負担

【スケジュール予定】

- 1日目 13:30 開会
講演 五十嵐仁法政大名誉教授
DVD上映
基調報告
支部報告
夕食・交流会
- 2日目 支部報告
発言・交流
秋の月間のとりくみ
終了 11:30



◆交通 電車利用の場合

- ◎池袋 -- 西武池袋線 -- 西武秩父駅
 - ◎池袋 -- 東武東上線 -- 寄居 -- 秩父鉄道 -- 秩父駅
 - ◎上野 -- JR高崎線 -- 熊谷 -- 秩父鉄道 -- 秩父駅
- 西武秩父駅・秩父駅からはタクシー、バス(西武バス小
鹿野車庫行で三島バス停下車、もしくは両神村営バスで
クアパレス前下車)を利用ください。

■先に、映画「新聞記者」を見つづけて原作『新聞記者』を読み、女性記者の「私たち、このままでいいんですか？」の問いかけが印象に残りました。■働く者の労働環境は際限のない改悪が続いている。経済界や自公政権は、さらに解雇の自由まですすめようとしている。このままでいいはずはない。■CUは結成10年、初めて一泊の活動者会議を開催する。今、支部大会は活況を呈している。相談者の自らの言葉が、参加者に大きな共感を呼んでいる。会議で大いに交流し学びあいたい。